



桜 (仁田子)

うたごよみ 卯月

〔短歌〕

一日の疲れを癒す温泉に浸かりて今日の無事を感謝す
 渡辺幸士 選
 緒方 明美

花は咲き鳥は鳴けども歌詠めず心の中にまだ亡夫がいる
 塚原 暁益

花愛でるゆとりさえ無き日々にして今日は節句の桃の花買う
 池田キヨ子

軒先のさくら草など咲き盛り春の訪れ知らせてくれる
 赤星 文子

夕陽受けハートの影を写しだす二俣橋は愛を育む
 白梅 武人

気が付けば春来たるらし庭先にクリスマスローズ咲き誇りおり
 吉永由紀子

声の出ぬ友の見舞いは筆談で通じ会えたり微笑み浮かぶ
 内田乃武子

春の花庭に植えむと見に行きて亡友の好みの百合の花買う
 上村やす美

冬物のバーゲンセール隣の隣室にマネキン春を装いて立つ
 渡辺 幸士

〔川柳〕

渡辺幸士 選

〔植木〕

老梅が今年も咲いて春を告げ
 林 雅之
 植木市冷たい風も何のその
 日隈 俊郎

〔そっくり〕

そっくりの孫に母さん見る思い
 清川みどり
 兄弟のような地藏に逢う峠
 川村 文子
 話合い私心そっくり捨て参加
 渡辺 幸士

〔肥後狂句〕

北川直美 選

うちとけて 帰りたくないクラス会 広田みどり
 うちとけて 乾杯しすぎ二日酔 下山 千恵
 うちとけて 話もはずむ初デート 志垣 光
 うちとけて 孫も一緒に詰将棋 佐藤 葵
 うちとけて 二人の仲が元通り 平井やよい
 うちとけて 愛の鞭でち悟らした 長原 産賀
 うちとけて 敬語も徐徐に減って来た 佐野 京
 うちとけて 大風呂敷の始まった 光永 六
 うちとけて おでん屋なんかどうでしょう 井元あざみ
 うちとけて 身の上話語り出す 日高 美里
 うちとけて 酒酌み交わす初対面 上田 梅清
 うちとけて 良かしこ飲めて言わす医者 日隈 元良
 うちとけて 兄弟分になる屋台 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
 ☎096・234・2447 (内線321)

ひとの動き (敬称略)

2月11日(月)～3月10日(日)

birth お誕生おめでとう

住所 氏名 性別 保護者
 中山 坂澤 諒 男 千尋
 麻生原 外村 謙心 男 有也

marriage ご結婚おめでとう

住所 氏名
 夫 菊陽町 吉岡 孝誠
 妻 横田 永田さつき
 夫 西原村 菅野 晃司
 妻 仁田子 山本はるか
 夫 仁田子 井芹 尚希
 妻 熊本市 南 果歩

condolence お悔やみ申し上げます

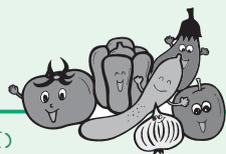
住所 氏名 年齢 世帯主
 上早川 野仲 敬介 58 泉
 下横田 野口美重子 81 留美子
 安平 荒瀬 敬子 94 敬子
 早川 渡邊 晃彰 97 晃彰
 西寒野 松井 重敏 79 友子
 坂谷 田上 之男 98 之男
 西寒野 井芹 敬敏 87 敬敏
 有安 花園 博昭 58 浩子

data 甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	5,044	△5
女	5,593	△12
計	10,637	△17
世帯数	4,267	△2

平成31年2月28日現在

こうさの野菜で作ってみよう!

レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん(北原区)



長イモの大皿卵焼き

ご存知ですか？

長イモには、あい下ろしてサウサウ〜っと「とろろ」、酢の物にしたら「シヤリシヤリ」、蒸したら「ホクホク」といろんな食感が楽しめて、いろんな味わい方があいまね。

そんな長イモには、旬が2回あるってご存じですか？

みおみおしさを味わう「秋掘い」。熟成した旨みを味わえるのが「春掘い」。今がまさにその「春掘い」の旬の時です。

長イモは昔から「山のうなぎ」と言われるほど、滋養強壯の効果が大きく、たくさんの効能・効果があります。栄養成分は山のようなのに低カロリーと嬉しいですね。



作り方

- ①長イモは良く洗い、長さ3割ほどの細めの干切りにします。
- ②卵は割りほぐし、赤酒と砂糖を加え、しっかりと混ぜ合わせましょう。
- ③混ぜりあったら、塩としょう油も加えよく混ぜます。
- ④③に①の長イモを入れたら、塊がないよう均一に混ぜます。
- ⑤フライパンを強火で熱し、サラダ油を入れ全体に広げます。
- ⑥⑤に④の卵液を流し入れ、手早く箸で混ぜながらフライパン全体に広げましょう。
- ⑦様子を見て中火に落とし、卵の周りが固まってくるまで焼きます。フライ返しなどでくるりとひっくり返して両面をきっちりと焼き上げます。
- ⑧大皿に盛り付け、ケチャップで飾ります。

材 料 (4人分)

長イモ……………10割
 卵……………4個
 赤酒……………小さじ1
 薄口しょうゆ……………小さじ1
 砂糖……………小さじ1
 塩……………小さじ2分の1
 サラダ油……………大さじ2

編集後記

例年よりも暖かく感じた冬が過ぎ、野山や道端の花々が一斉に目を覚まし、色鮮やかな菜の花や、淡いピンクのソメイヨシノを始めとして、沢山の花々が次々と開き始めました。

今月で熊本地震から3年を迎えます。町では、これまでに多くのボランティアの方々や、派遣職員の皆さんにご支援いただき、復旧・復興を進めてきました。今月号の特集では、道路や河川、農地などのこれまでの復旧状況や「震災からの創造的復興」を目指す町の復興に向けた取り組みをご紹介しますとともに「こうさスタイル」では、西寒野区の自主防災会事務局長の田浦末廣さんをご紹介します。いつ起こるか分からない災害などに、どのように備えるべきなのか、皆さんにも改めて考えていただく機会になればと思います。(り)